



本件照会先

猿渡 映一(調査担当)
帝国データバンク
名古屋支店 情報部
052-561-4846(直通)

発表日

2026/10/13

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

「ゼロゼロ融資後倒産」 上半期は 25 件発生 年度半期ベースで過去最多

累計では「製造」が 26.2%で最多

東海 3 県・「ゼロゼロ融資後倒産」動向調査(2026 年度上半期)

SUMMARY

東海 3 県(愛知・岐阜・三重)で、コロナ対策で実施された政府系金融機関および民間金融機関による「実質無利子・無担保融資(通称:ゼロゼロ融資)」を受けていたものの倒産した「ゼロゼロ(コロナ)融資後倒産」は、2026 年度上半期(4 月～9 月)に 25 件発生し、年度半期ベースでは過去最多となった。また、集計開始後の累計は 168 件となった。

※株式会社帝国データバンク名古屋支店は、東海 3 県(愛知・岐阜・三重)における政府系金融機関および民間金融機関による「実質無利子・無担保融資(通称:ゼロゼロ融資)」を受けていたものの倒産した「ゼロゼロ(コロナ)融資後倒産」について調査・分析を行った。

集計対象:負債 1000 万円以上・法的整理による倒産(2026 年 9 月末時点における判明ベース)

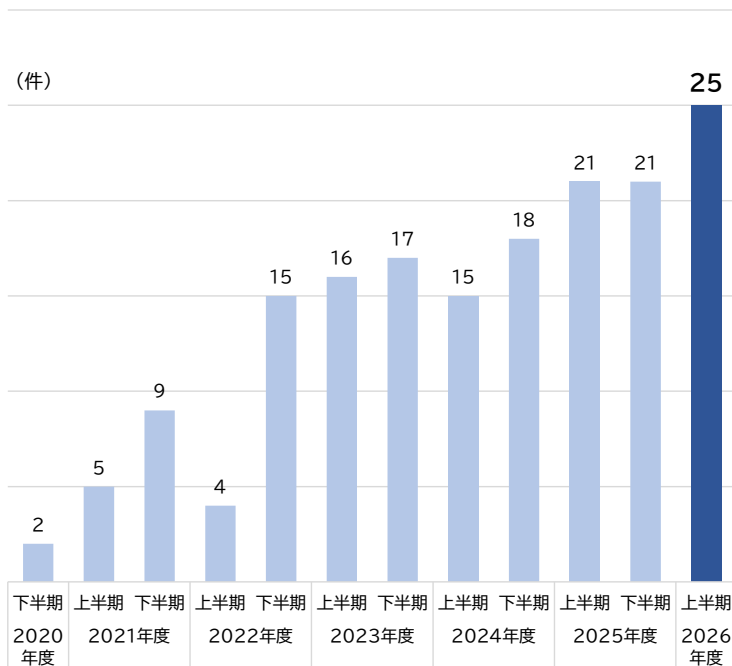
「ゼロゼロ融資後倒産」、2026 年度上半期に 25 件発生

コロナ対策で実施された政府系金融機関および民間金融機関による「実質無利子・無担保融資（通称：ゼロゼロ融資）」を受けていたものの倒産した「ゼロゼロ（コロナ）融資後倒産」（法的整理、負債 1000 万円以上）は、東海 3 県（愛知・岐阜・三重）で 2026 年度上半期（4 月～9 月）に 25 件発生した。年度半期ベースでは過去最多となり、「ゼロゼロ融資」が実行された 2020 年からの累計では 168 件に達した。

業種別では、「製造」が累計（構成比 26.2%）で最多となった。一方、倒産自体が増加傾向となっている「建設」が 2026 年度上半期では最多となった。「ゼロゼロ融資」によってコロナ禍最中の資金繰りはしのげたものの、アフターコロナ以降の売り上げ回復が遅れているほか、資材価格高騰などで収益性が悪化し返済原資を確保できなくなったケースが多いとみられる。

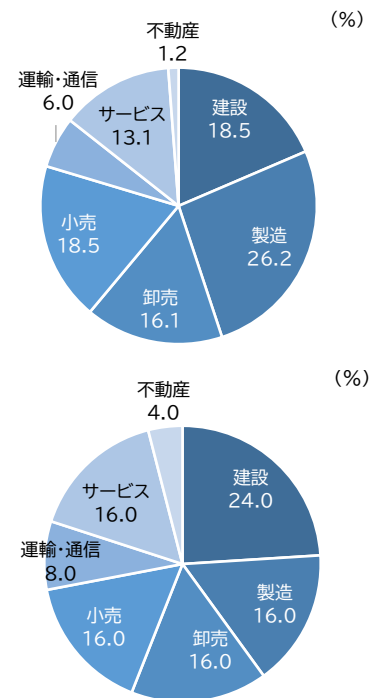
「ゼロゼロ融資後倒産」の動向

「ゼロゼロ融資後倒産」の件数推移（年度半期ごと）

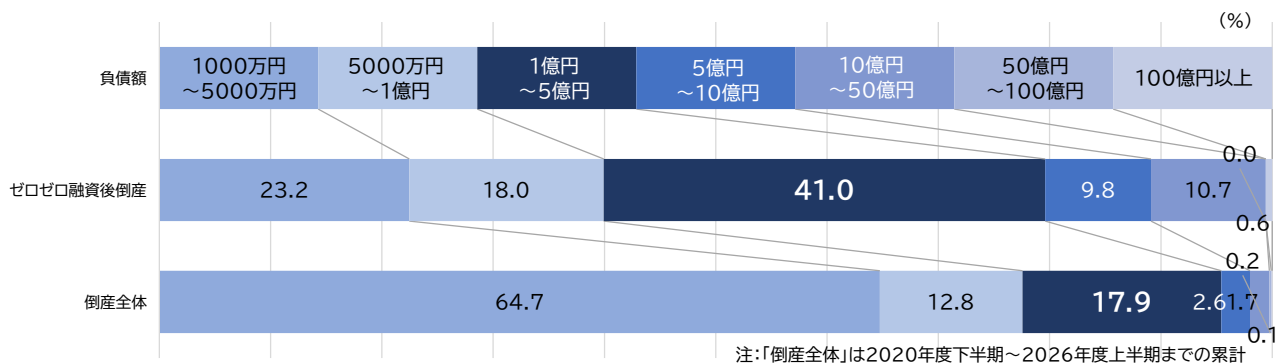


「ゼロゼロ融資後倒産」の業種別構成比

（上段：累計 下段：2026 年度上半期）



負債額別構成比の比較



※小数点以下第 2 位で四捨五入しているため
合計が 100 にならない場合もある